

平成21年 6月 4日

各 教授、助教授、講師 殿
各 研究室 御中

電気通信研究所共同プロジェクト研究会「ナノ・バイオエレクトロニクスに関する研究」
第13回情報バイオロニクス研究会
講演会の開催について

東北大学電気通信研究所
ナノ・スピン実験施設
ナノ分子デバイス研究部教授
庭野 道夫

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、下記の通り研究会を開催いたしますので、多数御来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

日 時 2009年6月19日(金) 13:10~17:05

場 所 東北大学 電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設 4F カンファレンスルーム

プログラム

13:10 開会の挨拶 荻野 俊郎 (横浜国立大学工学研究院)

13:15 「単結晶基板上的グラフェンとそのバイオ応用」
荻野 俊郎 (横浜国立大学工学研究院)

13:35 【特別講演】「高分子ナノ集積体を利用した自己支持性ナノ薄膜の作製」
三ツ石 方也 (東北大学多元物質科学研究所)

14:20 【特別講演】「興奮性シナプス形成過程における伝達物質放出様式の解析」
桂林 秀太郎 (福岡大学薬学部)

15:05 - 15:20 休憩

15:20 「神経幹細胞機能制御のためのバイオインターフェース設計」
加藤 功一 (京都大学再生医科学研究所)

15:50 「Electrochemical generation of Nanobubbles for protein removal」
Vince Craig (Australian National University)

16:20 「神経回路網形成の分子基盤～細胞内シグナルにより細胞接着能を変える電位依存性
K⁺チャネルとシナプス形成機構～」
木村 一志 (三重大学医学部)

16:40 「計算機を用いた抗ウイルス薬の開発」
星野 忠次 (千葉大学薬学研究院)

17:00 閉会の挨拶 庭野 道夫 東北大学電気通信研究所

問い合わせ先:
東北大学大学院医工学研究科
平野 愛弓
Tel. 022-217-5502
E-mail: ahirano@bme.tohoku.ac.jp